

教 科		科 目		期間	担当者		
高1国語		現 代 の 国 語		単位数：1単位 [標準単位：2単位]	年間	嶋田 浩樹	
指導目標 小説を読むことを通して、登場人物の心理の変化を文脈に沿いつつも自由に想像し、人間の複雑に交錯する内面の、繊細な表現を味わっていきたい。また、自分の物の見方や考え方を深め、それらを自分の言葉で表現することができるようにしたい。評論の読解を通しては、論理的に考える姿勢を身に付け、意見を自分の力でまとめ上げ、発表するレベルまで学習を深めていきたい。							
スクーリング	全 15 回	面接指導： 回 講 義： 15回	教科書	高等学校 現代の国語(第一学習社)			
レポート	全 3 回	添削指導： 3回 その他： 12回	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験	有り	学 期： 2回	副教材	無し			
定期試験の 評価割合		80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容		面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	「小説 羅生門」①			○	第1回(6/4) *毎回ノート提出
2	4/23	火	「小説 羅生門」②			○	
3	5/7	火	「小説 羅生門」③			○	
4	5/14	火	「小説 羅生門」④			○	
5	5/21	火	「小説 羅生門」⑤			○	
6	5/28	火	「小説 羅生門」⑥ 試験対策			○	
7	6/4	火	「小説 羅生門」⑦ 試験対策			○	
8	6/11	火	前期試験実施				
9	10/1	火	「評論 <生きもの>として生きる」①			○	第2回(10/15) 第3回(11/5) *毎回ノート提出
10	10/8	火	「評論 <生きもの>として生きる」②			○	
11	10/15	火	「評論 <生きもの>として生きる」③			○	
12	10/22	火	「評論 <生きもの>として生きる」④			○	
13	10/29	火	「評論 <生きもの>として生きる」⑤			○	
14	11/5	火	「評論 <生きもの>として生きる」⑥			○	
15	2/18	火	進級試験実施			○	答案返却日程調整

教 科		科 目		期間	担当者	
高2国語		現 代 の 国 語	単位数：1 単位 [標準単位：2 単位]	年間	嶋田 浩樹	
指導目標 1 年次よりも難易度の高い評論や小説を一語一語丁寧に吟味し、読解する姿勢を身に付けたい。また、意見や感想の発表の場を通して、自分と異なる他者の意見や主張、独自の解釈や鑑賞に触れる機会を増やし、自分の考え方や感じ方の幅を広げたい。						
スクーリング	全 15 回	面接指導： 0回 講 義： 15回	教科書	高等学校 現代の国語(第一学習社)		
レポート	全 3 回	添削指導： 2回 その他： 13回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	6/25	火	「小説 山月記 中島 敦 ①」		○	第1回(9/3) *毎回ノート提出
2	7/2	火	「小説 山月記 中島 敦 ②」		○	
3	7/9	火	「小説 山月記 中島 敦 ③」		○	
4	7/16	火	「小説 山月記 中島 敦 ④」		○	
5	9/3	火	「小説 山月記 中島 敦 ⑤」		○	
6	9/10	火	「評論 ペンギンがけんかした日 ①」		○	第2回(10/8) *毎回ノート提出
7	9/17	火	「評論 ペンギンがけんかした日 ②」		○	
8	9/24	火	「評論 ペンギンがけんかした日 ③」		○	
9	10/1	火	「評論 ペンギンがけんかした日 ④」		○	
10	10/8	火	後期中間試験		○	第3回(2/15) *毎回ノート提出
11	12/3	火	「小説 夏目漱石 こころ ①」		○	
12	12/10	火	「小説 夏目漱石 こころ ②」		○	
13	12/17	火	「小説 夏目漱石 こころ ③」		○	
14	1/14	火	「小説 夏目漱石 こころ ④」		○	
15	1/21	火	「小説 夏目漱石 こころ ⑤」		○	
16	2/18	火	進級試験		○	

教 科		科 目		期間	担当者	
保健体育		体 育		単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	岩 本 亘 平
指導目標						
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。						
(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。						
(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
スクーリング	全24回	面接指導：24回 講 義：0回	教科書	現代高等保健体育		
レポート	全4回	添削指導：4回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	なし	学 期：0回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	60%	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/22	月	ガイダンス	○		
			集団行動	○		
2	5/13	月	【バドミントン】基本の動きと技術	○		
			ドライブ、ショートドライブ、ブッシュの方法	○		第1回(5/27)
			ヘアピン、(ジャンピング)スマッシュの方法	○		
3	5/27	月	基本戦術 サービスレシーブ、決定力を上げる、四隅を狙う 狙ったところに打つ、カウンター攻撃 OF・DF、試合	○		
			ドロップ、ドリブンクリアの方法	○		第2回(6/24)
4	6/10	月	基本戦術 ダブルスサービスレシーブ、基本フォーメーション ローテーション、攻撃でオープンスペースを作る DF から OF(切り替え)、実戦フォーメーション、試合	○		
5	6/24	月	実技試験	○ ○		
6	9/2	月	試合(ダブルス)	○		
			試合(シングルス)	○		
7	9/30	月	【ハンドボール】基本の動きと技術、ルールの確認、色々なパス (ジャンプ、ステップ)シュートの方法、1対1	○ ○		
8	10/28	月	ランニングシュート、ランニングパスからシュートの方法、2対1	○		第3回(11/11)
			色々なパスの練習方法(グループ)、試合(簡易的)	○		
9	11/11	月	(ジャンプ、ステップ)シュートの練習方法(グループ) 3対2、3対3	○ ○		
10	11/25	月	実技試験	○ ○		第4回(12/9)
11	12/9	月	チームの課題にあった練習方法(仲間と協力して技術を向上)	○ ○		
12	1/20	月	チームスポーツの楽しみ方を伝える(生涯にわたって楽しむための関わり方)	○ ○		

教科	科目	期間	担当者
保健体育	体育	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間 岩本 亘平

指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

スクーリング	全18回	面接指導：18回 講義：0回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全4回	添削指導：4回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期：0回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	60%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	6/3	月	ガイダンス、集団行動 【バドミントン】基本の動きと技術	○		第1回(6/17)
2	6/17	月	ドライブ、ショートドライブ、プッシュ、ヘアピン (ジャンピング)スマッシュ、ドロップ、ドリブンクリアの方法	○		
3	7/1	月	実技試験	○		第2回(7/1)
4	9/9	月	基本戦術 ダブルスサービスレシーブ、基本フォーメーション ローテーション、攻撃でオープンスペースを作る DFからOF(切り替え)、実戦フォーメーション 試合(ダブルス)	○		
5	10/7	月	【ハンドボール】基本の動きと技術、ルールの確認、色々なパス (ジャンプ、ステップ)シュートの方法、1対1	○		第3回(10/21)
6	10/21	月	ランニングシュート、ランニングパスからシュートの方法、2対1 色々なパスの練習方法(グループ)、試合(簡易的)	○		
7	12/2	月	(ジャンプ、ステップ)シュートの練習方法(グループ) 3対2、3対3	○		第4回(12/16)
8	12/16	月	実技試験	○		
9	2/10	月	チームの課題にあった練習方法(仲間と協力して技術を向上) チームスポーツの楽しみ方を伝える(生涯にわたって楽しむための関わり方)	○		

教 科		科 目		期間	担当者		
保健体育		保 健		単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	岩 本 亘 平	
指導目標							
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。							
(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。							
(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。							
(3) 障害を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える健康づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							
スクーリング	全22回	面接指導：4回 講義：16回	教科書	現代高等保健体育			
レポート	全6回	添削指導：6回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験	あり	学 期：1回	副教材	配布プリント その他			
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定					
回	日付	曜 日	単元・学習内容		面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	月	ガイダンス		○		
			01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康のすがた			○	
2	5/20	月	03 生活習慣病の予防と回復 04 がんの原因と予防 05 がんの治療と回復			○	第1回(6/3)
			06 運動と健康 07 食事と健康			○	
3	6/3	月	08 休養・睡眠と健康 09 喫煙と健康 10 飲酒と健康			○	
			11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴			○	
4	6/17	月	13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症		○		第3回(7/1)
			16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防			○	
5	7/1	月	18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり			○	
			期末試験				
6	9/9	月	試験返却 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成				第5回(12/2)
			03 交通における安全 04 応急手当の意義とその基本			○	
7	10/7	月	05 日常的な応急手当 06 心配蘇生法 01 ライフステージと健康		○	○	
			02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康			○	
8	10/21	月	05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康			○	第7回(12/23)
			07 中高年期と健康 08 働くことと健康 09 労働災害と健康			○	
9	12/2	月	10 健康的な職業生活 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康		○		
			03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備			○	
10	12/16	月	05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動			○	第9回(1/6)
			期末試験				
11	2/10	月	試験返却 07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用			○	
			09 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策			○	
			11 健康に関する環境づくりと社会参加				

2024年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
国語		現代の国語		単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	遠 藤 寿 一
指導目標						
1. 小説というテキストを批判的に読むことで、小説を論理的に分析する能力を磨く。						
2. 社会生活に役立つ「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」に関する知識と技能を身に着ける。						
スクーリング	全 14 回	面接指導： 4 回 講 義： 10 回	教科書	第一学習社 高等学校 現代の国語		
レポート	全 6 回	添削指導： 3 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	前 期： 1 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/19	金	小説「夢十夜 第一夜」①		○	第1回(5/24) ノート提出
2	4/26	金	小説「夢十夜 第一夜」②	○		
3	5/10	金	小説「夢十夜 第一夜」③		○	
4	5/17	金	小説「夢十夜 第一夜」④		○	
5	5/24	金	小説「夢十夜 第一夜」⑤		○	
6	5/31	金	小説「夢十夜 第一夜」⑥ (試験対策)	○		
7	6/7	金	春学期期末試験		○	
8	10/18	金	話して伝える「話し方の工夫」①		○	第2回(11/8) ワークシート提出
9	10/25	金	話して伝える「話し方の工夫」②		○	
10	11/1	金	話して伝える「待遇表現」①	○		
11	11/8	金	話して伝える「待遇表現」②		○	第3回(12/6) ワークシート提出
12	11/15	金	話して伝える「論理的な表現」①		○	
13	11/22	金	話して伝える「論理的な表現」②		○	
14	11/29	金	書いて伝える「書き方の基礎レッスン」①		○	
15	12/6	金	書いて伝える「書き方の基礎レッスン」② (試験対策)	○		
16	2/7	金	秋学期期末試験			

2024年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校やかい

教 科		科 目		期間	担当者	
国 語		言 語 文 化		単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	遠 藤 寿 一
指導目標 1. 文学テキストを批判的に読み、作品の背景にある社会システムを深く理解する。 2. 日本文学と中国文学の関わりをとらえ、教養としての古典を身に着ける。						
スクーリング	全 11 回	面接指導： 4 回 講 義： 7 回	教科書	第一学習社 高等学校 言語文化		
レポート	全 6 回	添削指導： 3 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	6/17	月	歌物語「伊勢物語」芥川		○	第1回(6/28) ノート提出
2	6/21	金	歌物語「伊勢物語」筒井筒①	○		
3	6/28	金	歌物語「伊勢物語」筒井筒②		○	
4	7/5	金	物語「源氏物語」桐壺		○	第2回(9/20) ノート提出
5	9/6	金	物語「源氏物語」夕顔	○		
6	9/13	金	物語「源氏物語」若紫		○	
7	9/20	金	物語「源氏物語」薄雲		○	
8	10/4	金	試験対策	○		
9	10/11	金	秋学期中間試験		○	
10	12/13	金	漢文「桃花源記」①		○	第3回(1/10) ノート提出
11	1/10	金	漢文「桃花源記」②	○		
12	1/17	金	漢文「桃花源記」③（試験対策）		○	
13	2/7	金	秋学期期末試験		○	
14	2/17	月	古典の詩歌「古今和歌集」	○		

教 科		科 目		期間	担当者			
保健体育		体 育		単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	岩 本 亘 平		
指導目標								
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。								
(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。								
(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。								
(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								
スクーリング		全18回	面接指導：18回 講 義：0回	教科書	現代高等保健体育			
レポート		全4回	添削指導：4回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験		なし	学 期：0回	副教材	配布プリント その他			
定期試験の 評価割合		60%	評定算出方法 100法5段階評定					
回	日付	曜日	単元・学習内容			面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/22	月	ガイダンス			○		
			集団行動			○		
2	5/13	月	【バドミントン】基本の動きと技術			○		第1回(5/27)
			ドライブ、ショートドライブ、プッシュ、ヘアピン確認			○		
			(ジャンプ)スマッシュ、ドロップ、ドリブンクリア確認			○		
3	5/27	月	基本戦術 サービスレシーブ、決定力を上げる、四隅を狙う 試合(簡易的)			○		第2回(6/24)
4	6/10	月	ドライブ、ショートドライブ・プッシュ練習方法(グループごと)			○		
			基本戦術 狙ったところに打つ、カウンター攻撃 OF・DF、試合			○		
5	6/24	月	実技試験			○		第3回(10/28)
						○		
			プッシュ、ヘアピン、スマッシュ練習方法(グループごと)			○		
6	9/2	月	基礎戦術 ダブルスのサービスレシーブ、基本フォーメーション ローテーション、試合			○		第4回(11/11)
7	10/28	月	【ハンドボール】基本の動きと技術、ルールの確認、色々なパス (ジャンプ、ステップ)シュートの方法、1対1			○		
			ランニングシュート、ランニングパスからシュートの方法、2対1			○		
8	11/11	月	実技試験			○		第4回(11/11)
						○		
						○		
9	11/25	月	3対2、3対3、チームの課題にあった練習方法(仲間と協力して技術を向上)			○		
			チームスポーツの楽しみ方を伝える(生涯にわたって楽しむための関わり方)			○		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教 科		科 目		期間	担当者		
地理歴史		高校現代文明論		単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]	年間	田村 基成	
指導目標 東海大学の建学の精神に基づき、思想を培い、希望を星につなげることを目的とする。							
スクーリング	全 10 回	面接指導： 4回 講 義： 6回	教科書	新版 高校現代文明論			
レポート	全 6 回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験	なし	学 期： 0回	副教材	なし			
定期試験の 評価割合		評定算出方法 100法5段階評定		A4フラットファイルを用意			
回	日付	曜日	単元・学習内容		面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/23	火	松前重義、名利なき証言①			○	5/14
2	5/14	火	松前重義、名利なき証言②			○	
3	6/25	火	ロシアのウクライナ侵攻について考える		○		6/25
4	7/9	火	人口知能 AI について考える			○	7/9
5	9/3	火	SDGS について考える		○		9/3
6	10/1	火	校長講話（予定）			○	10/1
7	10/29	火	職業人として①（プロフェッショナル仕事の流儀）		○		10/29
8	11/12	火	職業人として②（プロフェッショナル仕事の流儀）			○	11/12
9	11/26	火	職業人として③（プロフェッショナル仕事の流儀）		○		11/26
10	1/21	火	一年間のまとめ			○	

教 科		科 目		期間	担当者	
地理歴史	歴史総合	単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]	通年	田村 基成		
指導目標						
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。						
スクーリング	全 27 回	面接指導： 10回	教科書	実教出版 歴史総合		
		講 義： 17回				
レポート	全 10 回	添削指導： 6回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
		その他： 4回				
定期試験	あり	学 期： 1回	副教材	なし（A4フラットファイルを用意）		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		5段階		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	ガイダンス		○	4/23
2	4/23	火	主権国家体制、絶対王政		○	
3	5/7	火	イギリス産業革命	○		
4	5/14	火	アメリカ独立戦争		○	
5	5/21	火	フランス革命	○		
6	5/28	火	ナポレオンの大陸支配		○	
7	6/4	火	ウィーン体制		○	5/21
8	6/11	火	ペリー来航と条約締結	○		
9	6/18	火	尊王攘夷運動の高まり		○	6/11
10	6/25	火	大政奉還と王政復古	○		
11	7/2	火	前期期末試験			7/2
12	9/3	火	19世紀イギリスとフランス		○	
13	9/10	火	イタリア・ドイツの統一	○		9/17
14	9/17	火	明治維新	○		
15	10/8	火	日本のアジア外交		○	10/29
16	10/22	火	自由民権運動	○		
17	10/29	火	帝国主義		○	12/3
18	11/5	火	日清戦争	○		
19	11/12	火	日露戦争		○	2/18
20	11/26	火	日本の産業革命		○	
21	12/3	火	後期中間試験		○	
22	12/10	火	第一次世界大戦	○		
23	12/17	火	ヴェルサイユ・ワシントン体制		○	
24	1/14	火	世界恐慌		○	
25	1/21	火	第二次世界大戦	○		2/18
26	2/18	火	後期期末試験		○	
27	2/25	火	一年間のまとめ		○	

2024年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科	科目		期間	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅠ (1年次)	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂 朝子
指導目標				
1. 英語を通して、言語や文化に対する理解を深める。				
2. 英語に対する苦手意識をなくし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。				
3. 平易な文のリスニング、スピーキング、ライティングの基礎を固める。				
スクーリング	全 34 回	面接指導：16回 講義：15回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)
レポート	全 8 回	添削指導：6回 その他：2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：前期 1回 後期 2回	副教材	授業プリント (配布)
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	ガイダンス	○		第1回(5/16)
2	4/25	火	アルファベット筆記体/Warm-up 1		○	
3	5/9	火	Warm-up 1・2		○	
4	5/16	火	Warm-up 2・3		○	
5	5/23	火	Pre-Lesson (1)	○		第2回(6/13)
6	5/30	火	Pre-Lesson 2 (2)		○	
7	6/6	火	Pre-Lesson 2 (1)	○		
8	6/13	火	Pre-Lesson 2 (2)		○	
9	6/20	火	Lesson 1 (1)	○		第3回(6/27)
10	6/27	火	Lesson 1 (2)		○	
11	7/4	火	テスト			
12	7/11	火	テスト返却	○		
13	7/18	火	Lesson 1 (3)	○		第4回(9/12)
14	9/5	火	Lesson 1 (4)		○	
15	9/12	火	Lesson 1 まとめ	○		第5回(9/26)
16	9/19	火	Lesson 2 (1)	○		
17	9/26	火	Lesson 2 (2)		○	第6回(10/17)
18	10/3	火	Lesson 2 (3)	○		
19	10/10	火	Lesson 2 (4)		○	
20	10/17	火	Lesson 2 まとめ	○		
21	10/24	火	Lesson 3 (1)		○	第7回(11/21)
22	10/31	火	Lesson 3 (2)	○		
23	11/7	火	Lesson 3 (3)		○	
24	11/21	火	Lesson 3 (4)		○	
25	11/28	火	テスト対策	○		
26	12/5	火	テスト			
27	12/12	火	テスト返却	○		
28	12/19	火	Lesson 3 まとめ	○		第8回(1/16)
29	1/16	火	Communication 2 道案内		○	
30	1/23	火	テスト対策	○		

31	2/13	火	テスト			
32	2/20	火	テスト返却	○		
33	3/5	火	Activity ①		○	
34	3/12	火	Activity ②		○	

2024年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
外国語		英語コミュニケーションⅠ (2年次)	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂 朝子	
指導目標						
1. 国内外の自然、文化に対する理解を深める。						
2. 教科書レベルの平易な文を聞き取り、理解できるようにする。						
3. 教科書レベルの平易な文で自分の意思を伝えられるようにする。						
スクーリング	全 34 回	面接指導： 16回 講 義： 15回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	学 期：前期 1回 後期 2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評 定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	ガイダンス / アルファベット筆記体	○		第1回(5/9)
2	4/25	火	Lesson 4 (1)		○	
3	5/9	火	Lesson 4 (2)	○		
4	5/16	火	Lesson 4 (3)		○	第2回(5/30)
5	5/23	火	Lesson 4 (4)		○	
6	5/30	火	Lesson 4 まとめ 不定詞	○		
7	6/6	火	Lesson 5 (1)	○		第3回(6/20)
8	6/13	火	Lesson 5 (2)		○	
9	6/20	火	Lesson 5 (3)		○	
10	6/27	火	テスト対策	○		
11	7/4	火	テスト			
12	7/11	火	テスト返却	○		
13	7/18	火	Lesson 5 (4)	○		第4回(9/12)
14	9/5	火	Lesson 5 (5)		○	
15	9/12	火	Lesson 5 まとめ 動名詞	○		
16	9/19	火	Lesson 6 (1)		○	第5回(10/3)
17	9/26	火	Lesson 6 (2)		○	
18	10/3	火	Lesson 6 (3)	○		
19	10/10	火	Lesson 6 (4)		○	第6回(10/24)
20	10/17	火	Lesson 6 (5)		○	
21	10/24	火	Lesson 6 まとめ 受け身	○		
22	10/31	火	Lesson 7 (1)		○	第7回(11/21)
23	11/7	火	Lesson 7 (2)		○	
24	11/21	火	Lesson 7 (3)		○	
25	11/28	火	テスト対策	○		
26	12/5	火	テスト			
27	12/12	火	テスト返却・Lesson 7 (4)	○		第8回(1/16)
28	12/19	火	Lesson 7 (5)		○	
29	1/16	火	Communication 3 乗換案内		○	
30	1/23	火	テスト対策	○		

31	2/13	火	テスト			
32	2/20	火	テスト返却	○		
33	3/5	火	Activity①	○		
34	3/12	火	Activity②	○		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教 科	科 目		期間	担当者		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ (3年次)	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂 朝子		
指導目標						
1. 英文の基本構造を理解し、意味のまとまりで大意をつかめるようにする。 2. 基礎的文法事項の習得により、自分の考えを、感情を伝えられるようにする。 3. 世界で起きている事象に目を向け、幅広い視野を持たせる。						
スクーリング	全 29 回	面接指導： 16回 講 義： 10回	教科書	All Abroad! English CommunicationⅠ (東京書籍)		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あ り	学 期：前期 1回 後期 2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	ガイダンス / Lesson8 (1)	○		第1回(5/9)
2	4/25	火	Lesson8 (2)	○		
3	5/9	火	Lesson8 (3)		○	
4	5/16	火	Lesson8 (4)	○		第2回(5/23)
5	5/23	火	Lesson8 (5)		○	
6	5/30	火	Lesson9 (1)	○		第3回(6/20)
7	6/6	火	Lesson9 (2)		○	
8	6/13	火	Lesson9 (3)		○	
9	6/20	火	Lesson9 (4)		○	
10	6/27	火	テスト対策	○		
11	7/4	火	テスト			
12	9/5	火	テスト返却	○		
13	9/12	火	Lesson9 (5)		○	第4回(9/19)
14	9/19	火	Lesson9 まとめ	○		
15	10/3	火	Lesson10 (1)	○		第5回(10/10)
16	10/10	火	Lesson10 (2)		○	
17	10/17	火	Lesson10 (3)		○	第6回(10/24)
18	10/24	火	Lesson10 (4)	○		
19	10/31	火	Lesson10 (5)		○	第7回(11/21)
20	11/7	火	Lesson10 (6)		○	
21	11/21	火	Lesson10 まとめ	○		
22	11/28	火	テスト対策	○		
23	12/5	火	テスト			
24	12/12	火	テスト返却	○		
25	12/19	火	Reading2 Alone (1)	○		第8回(1/23)
26	1/16	火	Reading2 Alone (2)	○		
27	1/23	火	Reading2 Alone (3)	○		
28	2/13	火	テスト			
29	2/20	火	テスト返却	○		
30						

2024年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
家庭科		家庭基礎	単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	庄司 和子	
指導目標						
1. 人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を習得させ、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる						
2. 生活を創造する力（生活マネジメント力）、意思決定の方法を身につける。						
3. 自分らしく生きるためのライフスタイルを考える。						
スクーリング	全 24 回	面接指導： 1 回 講 義： 26 回	教科書	Creative Living		
レポート	全 6 回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習図書			
定期試験	あ り	学 期： 計3回	副教材	配布プリント		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜 日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1・2	4/17	月	第1章 生活のマネジメント ライフステージを考える		2	第1回 (5/30)
3・4	5/20	月	意思決定とは		2	
5・6	6/3	月	第2章 青年期の課題と自立 発達課題について		2	
7・8	6/17	月	第3章 家族・家庭生活のマネジメント 家族とは		2	第2回 (6/27)
9・10	7/1	月	法律から見る家族・家庭 前期定期試験	1	2	
11・12	7/8	月	夏季特別プログラム		2	第3回 (7/20)
13・14	9/9	月	第6章 共生社会をつくる		2	第4回 (9/30)
15・16	10/7	月	第9章 食生活のマネジメント		2	第5回 (10/21)
17・18	10/21	月	持続可能な食生活		2	
19・20	12/2	月	学園祭展示用作品の製作		2	第6回 (12/20)
21・22	12/16	月	学園祭展示用作品の製作		2	
23・24	2/10	月	第7章 持続可能な社会		2	
25	2/17	月	後期期末試験		1	
26	2/25	火	テスト返却と解説		1	

2024 年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
情報		情報Ⅰ	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	糸賀雅史	
指導目標 1. 情報社会に対応するのに必要な知識と技能を習得する。 2. 課題や目的に応じた情報手段の活用や発信・伝達する能力など情報活用の実践力を身に着ける。 3. 情報手段の特性の理解など情報の科学的な理解社会での情報技術が果たしている役割への理解を深める 4. 以上を通じて情報社会に適切に参画する態度を身に着ける。						
スクーリング	全 27 回	面接指導： 8 回 講 義： 10 回	教科書	実教出版 図説 情報Ⅰ		
レポート	全 10 回	添削指導： 6 回 その他： 4 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 前期1 回 後期2 回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	情報社会と私たち	○		第 1 回(5/7)
2	4/23	火	情報の管理と保護		○	
3	5/7	火	知的財産権	○		第 2 回(5/28)
4	5/14	火	著作権 1		○	
5	5/21	火	著作権 2		○	第 3 回(6/11)
6	5/28	火	情報セキュリティ 1	○		
7	6/4	火	情報セキュリティ 2		○	第 4 回(6/25)
8	6/11	火	メディアの機能と特性		○	
9	6/18	火	メディアリテラシーとコミュニケーション		○	第 5 回(9/10)
10	6/25	火	さまざまな情報システム	○		
11	7/2	火	前期期末試験			第 6 回(10/29)
12	9/3	火	問題解決とアルゴリズム		○	
13	9/10	火	デジタル表現の特徴と 2 進数と情報量	○		第 7 回(11/5)
14	9/17	火	数値のデジタル表現 1		○	
15	10/8	火	数値のデジタル表現 2		○	第 8 回(12/3)
16	10/22	火	文字のデジタル表現		○	
17	10/29	火	音声・画像のデジタル表現		○	第 9 回(1/21)
18	11/5	火	圧縮とファイル形式	○		
19	11/12	火	さまざまな情報機器		○	第 10 回(2/25)
20	11/26	火	ハードウェアとソフトウェア		○	
21	12/3	火	後期中間試験			第 9 回(1/21)
22	12/10	火	ビジュアルプログラミング	○		
23	12/17	火	ネットワークの仕組み		○	第 10 回(2/25)
24	1/14	火	TCP/IP		○	
25	1/21	火	モデル化とシミュレーション	○		第 10 回(2/25)
26	2/18	火	後期期末試験			
27	2/25	火	KJ 法		○	

教科	科目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数： 2単位 [標準単位： 3単位]	年間	糸賀雅史

指導目標

1. 整式の基本的な性質を理解
2. 自然数、整数、有理数、無理数、実数の理解と平方根を含む数の計算
3. 一次不等式と二次方程式の理解

スクーリング	全 30 回	面接指導： 4 回	教科書	東京書籍 新数学 I
		講義： 17 回		
レポート	全 78 回	添削指導： 6 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
		その他： 2 回		
定期試験	あり	学 期： 前期 1 回 後期 2 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	自然数の四則演算、約数と倍数	○		第 1 回(5/14)
2	4/23	火	計算順序、分数の四則演算		○	
3	5/7	火	小数の四則演算		○	
4	5/14	火	正負の数の四則演算 1		○	第 2 回(5/28)
5	5/21	火	正負の数の四則演算 2		○	
6	5/28	火	単項式と多項式	○		第 3 回(6/18)
7	6/4	火	多項式の整理		○	
8	6/11	火	多項式の加法・減法		○	
9	6/18	火	多項式の乗法		○	第 4 回(9/10)
10	6/25	火	整式の演習		○	
11	7/2	火	前期期末試験			
12	7/9	火	展開の公式その 1		○	
13	9/3	火	展開の公式その 2		○	第 5 回(10/22)
14	9/10	火	因数分解 1 共通因数のくくりだし	○	○	
15	9/17	火	因数分解 2 因数分解の公式		○	
16	9/24	火	因数分解 3 たすきがけ 1		○	
17	10/1	火	因数分解 4 たすきがけ 2		○	第 6 回(11/26)
18	10/8	火	様々な展開と因数分解			
19	10/22	火	平方根		○	
20	10/29	火	根号を含む式の計算		○	
21	11/5	火	分母の有理化		○	第 7 回(1/21)
22	11/12	火	実数		○	
23	11/26	火	因数分解・根号を含む式の演習		○	
24	12/3	火	後期中間試験		○	第 8 回(2/25)
25	12/10	火	1 次方程式		○	
26	12/17	火	不等式			
27	1/14	火	不等式の性質	○		
28	1/21	火	1 次方程式と 1 次不等式の演習		○	第 8 回(2/25)
29	2/18	火	後期期末試験		○	
30	2/25	火	不等式の利用・連立不等式		○	

教 科	科 目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数： 2単位 [標準単位： 3単位]	年間	糸賀雅史

指導目標

- 関数への理解
- 二次関数の性質の理解と $y = ax^2 + bx + c$ のグラフの作成
- 集合の理解と命題の理解、命題と逆、裏、対偶の理解

スクーリング	全 29 回	面接指導： 4 回 講 義： 16 回	教科書	東京書籍 新数学 I
レポート	全 10 回	添削指導： 6 回 その他： 4 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 前期 1 回 後期 2 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	関数と 1 次関数	○		第 1 回(5/14)
2	4/23	火	1 次関数と 2 次関数		○	
3	5/7	火	$y = x^2$ 、 $y = ax^2$ のグラフ	○		
4	5/14	火	$y = ax^2 + q$ のグラフ		○	第 2 回(6/4)
5	5/21	火	$y = a(x - p)^2$ のグラフ		○	
6	5/28	火	$y = a(x - p)^2 + q$ のグラフ		○	
7	6/4	火	$y = ax^2 + bx + c$ の変形 1		○	第 3 回(6/25)
8	6/11	火	$y = ax^2 + bx + c$ の変形 2			
9	6/18	火	$y = ax^2 + bx + c$ のグラフ			
10	6/25	火	2 次関数の復習		○	
11	7/2	火	前期期末試験		○	
12	7/9	火	2 次関数の最大値・最小値		○	第 4 回(9/10)
13	9/3	火	限られた範囲での最大値・最小値		○	
14	9/10	火	2 次方程式の解法	○		第 5 回(9/24)
15	9/17	火	2 次関数のグラフと 2 次方程式		○	
16	9/24	火	2 次方程式と 2 次不等式 1		○	第 6 回(10/22)
17	10/1	火	2 次方程式と 2 次不等式 2		○	
18	10/8	火	2 次方程式と 2 次不等式 3		○	
19	10/22	火	様々な 2 次不等式		○	第 7 回(10/29)
20	10/29	火	集合、共通部分と和集合	○		第 8 回(11/12)
21	11/5	火	命題と真偽		○	
22	11/12	火	2 次関数と集合の演習		○	
23	12/3	火	後期中間試験			
24	12/10	火	必要条件と十分条件、命題と集合		○	第 9 回(1/14)
25	12/17	火	逆と裏と対偶		○	
26	1/14	火	比と比例式の復習		○	第 10 回(2/25)
27	1/21	火	集合と命題の演習		○	
28	2/18	火	後期期末試験			
29	2/25	火	百分率の復習		○	

教 科		科 目		期間	担当者	
数学		数学Ⅰ		単位数： 2単位 [標準単位： 3単位]	年間	糸賀雅史
指導目標						
1. 集合の理解と命題の理解、命題と逆、裏、対偶の理解						
2. データの数理的な処理方法の理解						
3. 三角比の意味の理解						
4. 正弦定理・余弦定理の理解と図形の計量への活用						
スクーリング	全 27 回	面接指導： 4 回		教科書	東京書籍 新数学Ⅰ	
		講 義： 14 回				
レポート	全 10 回	添削指導： 6 回		学習図書	自校作成の教材資料を使用	
		その他： 4 回				
定期試験	あり	学 期： 前期 1 回 後期 2 回		副教材	なし	
定期試験評価割合	70%			評定	100 点法 5 段階評定	
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	集合、共通部分と和集合	○		第 1 回(5/7)
2	4/23	火	命題と真偽		○	
3	5/7	火	必要条件と十分条件、命題と集合		○	第 2 回(5/21)
4	5/14	火	逆と裏と対偶		○	
5	5/21	火	データの整理と代表値	○		第 3 回(6/11)
6	5/28	火	四分位数と箱ひげ図		○	
7	6/4	火	分散と標準偏差		○	
8	6/11	火	相関関係と相関係数		○	第 4 回(6/25)
9	6/18	火	仮説検定		○	
10	6/25	火	集合と命題、データ分析の演習		○	
11	7/2	火	前期期末試験			
12	9/3	火	根号を含む式の計算の復習	○		第 5 回(9/17)
13	9/10	火	相似な三角形、三平方の定理の復習		○	
14	9/17	火	タンジェント		○	第 6 回(10/22)
15	10/8	火	サインとコサイン		○	
16	10/22	火	三角比の利用 1		○	第 7 回(11/5)
17	10/29	火	三角比の利用 2		○	
18	11/5	火	三角比の相互関係		○	第 8 回(2/6)
19	11/12	火	鈍角の三角比		○	
20	11/26	火	三角比の演習 1		○	
21	12/3	火	後期中間試験			
22	12/10	火	正弦定理	○		
23	12/17	火	余弦定理		○	
24	1/14	火	三角形の面積		○	第 10 回(2/25)
25	1/21	火	三角比の演習 2		○	
26	2/18	火	後期期末試験			
27	2/25	火	三角比と計量		○	

教 科		科 目		期間	担当者	
社会		公共	単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	福元佑紀	
指導目標：現実社会の諸課題の解決に向け自己と社会との関わりを踏まえ、社会に参画する主体として自立し、他者と協働してよりよい社会を形成するための素養を身につける。						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 回 講 義： 35 回	教科書	高等学校 新公共（第一学習社）		
レポート	全 8 回	添削指導： 6 回 その他： 2 回	学習図書	なし		
定期試験	あ り	前期 1 回、後期 2 回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/26	火	授業の進め方、試験・評価について		○	第 1 回(6/21)
2			社会に生きる私たち		○	
3	5/24	火	伝統文化とのかかわり		○	
4			自立した主体をめざして		○	
5	6/7	火	人間と社会のあり方についての見方・考え方①		○	
6			人間と社会のあり方についての見方・考え方②		○	
7	6/21	火	人間の尊厳と平等、個人の尊重		○	第 2 回(7/)
8			民主主義と法の支配①		○	
9	7/5	火	民主主義と法の支配②		○	
10			日本国憲法に生きる基本的原理		○	
11	特プロ		前期試験		○	第 3 回(7/)
12	特プロ		試験返却・解説、まとめ		○	※ノート提出
13	9/6	火	私たちと法		○	第 4 回(10/3)
14			法と基本的人権		○	
15	9/20	火	平等に生きる権利と法		○	
16			法をよりよいものにするための権利		○	
17	10/4	火	契約と消費者の権利・責任		○	第 5 回(11/15)
18			司法参加の意義①		○	
19	10/18	火	司法参加の意義②		○	
20			私たちと選挙		○	
21	11/1	火	国会と立法		○	第 6 回(12/)
22			内閣と行政		○	
23	11/15	火	国家と国際法		○	
24			今日の国際社会		○	
25	11/29	火	私たちと経済		○	第 7 回(3/)
26			労働者と権利		○	
27	特プロ		後期中間試験		○	
28	特プロ		試験返却・解説、まとめ		○	
29	1/17	火	日本経済のこれまでとこれから		○	
30			現代の企業		○	
31	2/14	火	日本の農林水産業		○	
32			市場経済の機能と限界		○	
33	特プロ		地球環境問題		○	
34	特プロ		進級試験		○	第 8 回(3/)
35	特プロ		試験返却・解説、まとめ		○	※ノート提出

教 科		科 目		期間	担当者	
高1国語		言 語 文 化		単位数：1 単位 [標準単位：2 単位]	年間	嶋田 浩樹
指導目標 古文、漢文、近代以降の韻文の学習を通して、長い歴史をもつ日本語の特異性や言葉の豊かさを理解するとともに、大陸文化の影響についても視野を広げて見ていきたい。						
スクーリング	全 15 回	面接指導： 0回 講 義： 15回	教科書	高等学校 言語文化(第一学習社)		
レポート	全 3 回	添削指導： 3回 その他： 12回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	有り	学 期： 2回	副教材	無し		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	6/18	火	「古文 児のそら寝 ①」		○	第1回(9/3) *ノート毎回提出
2	6/25	火	「古文 児のそら寝 ②」		○	
3	7/2	火	「古文 児のそら寝 ③」		○	
4	7/9	火	「古文 児のそら寝 ④」		○	
5	7/16	火	「古文 児のそら寝 ⑤」		○	
6	9/3	火	「古文 児のそら寝 ⑥」		○	
7	9/10	火	「俳句 ①」		○	第2回(9/24) *ノート毎回提出
8	9/17	火	「俳句 ②」		○	
9	9/24	火	後期中間試験実施		○	
10	11/12	火	「漢文入門 ①」		○	第3回(12/10) *ノート毎回提出
11	11/26	火	「漢文入門 ②」		○	
12	12/3	火	「漢文入門 ③」		○	
13	12/10	火	「漢文入門 ④」 / 「狐借虎威①」		○	
14	12/17	火	「狐借虎威②」		○	試験返却日程調整
15	1/14	火	「狐借虎威③」		○	
16	1/21	火	「狐借虎威④」		○	
17	2/18	火	進級試験実施		○	

教 科		科 目		期間	担当者		
高2国語		言 語 文 化		単位数：1 単位 [標準単位：2 単位]	年間	嶋田 浩樹	
指導目標 1年次より難易度の高い古文、漢文、近代以降の韻文の学習を通して長い歴史をもつ日本語の特異性や言葉の豊かさを理解するとともに、名作を音読する習慣も身に付けていきたい。また、私達の生活の中に生き続けている日本独自の文化についても再認識したい。							
スクーリング	全 15回	面接指導： 0回 講 義： 15回	教科書	高等学校 言語文化(第一学習社)			
レポート	全 3 回	添削指導： 2回 その他： 13回	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験	有り	学 期： 2回	副教材	無し			
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定					
回	日付	曜日	単元・学習内容		面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	「短歌 斎藤茂吉①」			○	第1回(6/11) *ノート毎回提出
2	4/23	火	「短歌 斎藤茂吉②」			○	
3	5/7	火	「土佐日記 紀貫之①」			○	
4	5/14	火	「土佐日記 紀貫之②」			○	
5	5/21	火	「土佐日記 紀貫之③」			○	
6	5/28	火	「土佐日記 紀貫之④」			○	
7	6/4	火	「土佐日記 紀貫之⑤」			○	
8	6/11	火	「土佐日記 紀貫之⑥」 試験対策			○	
9	6/18	火	前期試験実施			○	第2回(10/22) *ノート毎回提出
10	10/15	火	「詩 高村光太郎」			○	
11	10/22	火	「詩 谷川俊太郎」			○	
12	10/29	火	「方丈記 鴨長明 ①」			○	第3回(11/12) *ノート毎回提出
13	11/5	火	「方丈記 鴨長明 ②」			○	
14	11/12	火	「方丈記 鴨長明 ③」			○	
15	2/18	火	進級試験			○	

2024年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：国際製菓専門学校

教 科	科 目	期 間	担 当 者
理科	生物基礎	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間 飯塚 浩
指導目標 1. 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。 2. 将来にわたって自然を大切にする気持ちや科学技術に対する興味・関心をもち続けることの大切さを理解する。			
スクーリング	全 27 回	面接指導： 14 回 講 義： 4 回	教科書 数研出版 新編 生物基礎
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 そ の 他： 0 回	学習図書 自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 前期1 回 後期2 回	副教材 配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評定	総合点＝試験素点(7割)+レポート点(2割)+出席点(1割)

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	ガイダンス 第1節 生物の多様性と共通性 ①生物の多様性	○		第1回 (5/7) p20-33
2	4/23	火	②生物の共通性とその由来	○		
3	5/7	火	③生物に共通する構造－細胞			
4	5/14	火	第2節 エネルギーと代謝 ①生命活動とエネルギー	○		第2回 (5/28) p38-43
5	5/21	火	第3節 呼吸と光合成 ①呼吸 ②光合成	○		
6	5/28	火	③エネルギーの流れ			
7	6/4	火	④酵素の性質	○		第3回 (6/18) p44-p57
8	6/11	火	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA ①遺伝情報を含む物質－DNA	○		
9	6/18	火	②DNAの構造			
10	6/25	火	前期期末までの振り返り		○	
11	7/2	火				
12	9/3	火	第2節 遺伝情報の複製と分配 ①細胞周期とDNA ②遺伝情報の複製 ③遺伝情報の分配	○		第4回 (10/8) p62-p74
13	9/10	火	②遺伝情報の複製 ③遺伝情報の分配	○		
14	9/17	火	第3節 遺伝情報の発現 ①遺伝情報とタンパク質	○		
15	10/8	火	②タンパク質の合成			第5回 (11/12) p75-p97
16	10/22	火	③細胞の分化と遺伝情報	○		
17	10/29	火	④遺伝子とノゲム	○		
18	11/5	火	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 ①体内での情報伝達	○		第6回 (1/14) p98-p107
19	11/12	火	②神経系による情報伝達と調節 ③内分泌系による情報の伝達と調節			
20	11/26	火	後期中間までの振り返り		○	
21	12/3	火				
22	12/10	火	第2節 体内環境の維持のしくみ ①体内環境の維持	○		第6回 (1/14) p98-p107
23	12/17	火	②血液濃度の調節のしくみ	○		
24	1/14	火	③血液の循環のを維持する仕組み			
25	1/21	火	後期期末までの振り返り		○	
26	2/18	火				
27	2/25	土	試験返却		○	

教 科		科 目		期間	担当者	
社会		地理総合	単位数： 2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	福元佑紀	
指導目標：日本のみならず広く人類としての様々な諸課題を日常生活と関連付けて取り扱い、地理的技能を身につけるとともに地理学習の有用性に気づき、自ら情報を収集し問題解決ができる力を身につける。						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 回 講 義： 35回	教科書	高等学校 新地理 A（帝国書院）		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	新詳高等地図（帝国書院）		
定期試験	あ り	学 期： 前期 1 回、後期 2 回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	月	授業の進め方、試験・評価について		○	第 1 回(5/30)
2	4/25	月	地球儀や地図からとらえる現代世界①		○	
3	5/9	月	地球儀や地図からとらえる現代世界②		○	
4	5/16	月	グローバル化が進む世界①		○	
5	5/23	月	グローバル化が進む世界②		○	
6	5/30	月	人々の生活と地形①		○	第 2 回(7/4)
7	6/6	月	人々の生活と地形②		○	
8	6/13	月	人々の生活と気候①		○	
9	6/20	月	人々の生活と気候②		○	
10	6/27	月	人々の生活と産業・文化		○	第 3 回(7/4) ※ノート提出
11	7/4	月	前期試験		○	
12	7/11	月	試験返却・解説、まとめ		○	第 4 回(10/3)
13	9/5	月	中国の生活・文化①		○	
14	9/12	月	中国の生活・文化②		○	
15	9/26	月	韓国の生活・文化①		○	第 5 回(10/31)
16	10/3	月	東南アジアの生活・文化		○	
17	10/10	月	南アジアの生活・文化		○	
18	10/17	月	中央・西アジア、北アフリカの生活・文化		○	
19	10/24	月	サハラ以南のアフリカの生活・文化		○	第 6 回(12/5)
20	10/31	月	ヨーロッパの生活・文化①		○	
21	11/7	月	ヨーロッパの生活・文化②		○	
22	11/14	月	ロシアの生活・文化		○	
23	11/21	月	アングロアメリカの生活・文化①		○	
24	11/28	月	アングロアメリカの生活・文化②		○	第 7 回(3/6)
25	12/5	月	後期中間試験		○	
26	12/12	月	試験返却・解説、まとめ		○	
27	12/19	月	ラテンアメリカの生活・文化		○	
28	1/16	月	オーストラリアの生活・文化		○	
29	1/23	月	地球的課題と私たち①		○	第 8 回(3/6) ※ノート提出
30	2/13	月	地球的課題と私たち②		○	
31	2/20	月	地球的課題と私たち③		○	
32	3/6	月	進級試験		○	
33	3/13	月	試験返却・解説、まとめ		○	第 8 回(3/6) ※ノート提出
34	特プロ	月	日本の自然環境と防災		○	
35	特プロ	月	身近な地域の課題と地域調査		○	

教科	科目	期間	担当者
理科	科学と人間生活	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間 飯塚 浩
指導目標 1. 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解し、身の回りにある事物や現象に興味を持てるようになる。 2. 将来にわたって自然を大切にしたい気持ちや科学技術に対する興味・関心をもち続けることの大切さを理解する。			
スクーリング	全 29 回	面接指導： 16 回 講義： 4 回	教科書 第一学習者 高等学校 科学と人間生活
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書 自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期期末： 1 回 後期： 2 回	副教材 配布プリント その他
定期試験の評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定	

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	ガイダンス 序章 科学技術の発展 元素記号について	○		第1回 (5/14) p17-p49
2	4/23	火	化学分野 中学校の振り返り	○		
3	5/7	火	第2節衣料と食品 1身近な繊維 2繊維の構造と染色 3天然繊維 4化学繊維	○		
4	5/14	火	5食品の中の主な栄養素 6炭水化物(1) 7炭水化物(2)			
5	5/21	火	8タンパク質 9脂質 10その他の栄養素	○		第2回 (6/4) p50-p61
6	5/28	火	第Ⅱ章生命の科学 第1節人の生命現象 1タンパク質の働きと構造 2遺伝子とDNA	○		
7	6/4	火	3タンパク質の合成 4血統濃度の調節			
8	6/11	火	5血糖濃度と糖尿病	○		
9	6/18	火	8ヒトの視覚(1) 9ヒトの視覚(2)			第3回 (6/18) p68-p73 p84-p87
10	6/25	火	前期期末試験までの振り返り		○	
11	7/2	■				
12	7/9	火	第Ⅲ章熱や光の科学 第1節熱の性質とその利用 1温度と熱運動	○		第3回 (9/17) p112-p119
13	9/3	火	2熱容量と比熱(1)	○		
14	9/10	火	3熱容量と比熱(2)	○		
15	9/17	火	4熱の伝わり方			
16	9/24	火	5仕事や電流と熱の発生	○		第4回 (10/8) p120-p127
17	10/1	火	6エネルギーの移り変わり	○		
18	10/8	火	7エネルギー資源の有効活用			
19	10/22	火	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節自然景観と自然災害 1日本列島のなりたち 2火山活動と地表の変化	○		第5回 (1/14) p148-p181
20	10/29	火	3火山災害と防災 4地震活動と地表変化	○		
21	11/5	火	5地震災害と防災 8気象災害と防災	○		
22	11/12	火	後期中間試験までの振り返り		○	
23	12/3	■				
24	12/10	火	第2節太陽と地球 1太陽と太陽系 2太陽系を構成する天体	○		
25	12/17	火	3太陽と人間生活(1) 4太陽と人間生活(2)	○		
26	1/14	火	5天体の動き 6太陽と月の動き(1)			
27	1/21	火	後期期末までの振り返り		○	
28	2/18	■				
29	2/25	火	試験返却		○	

2024年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：国際製菓専門学校

教 科		科 目		期 間	担 当 者
芸術	美術I	単位数：2単位 [標準単位：2単位]		年間	沼田 健
指導目標					
1. 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。					
2. 美術に関する専門的な知識や技能を働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。					
3. 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を作り上げる喜びを味わう。					
スクーリング	全 13 回	面接指導：	26 回	教科書	光村図書美術I
		講 義：	26 回		
レポート	全 6 回	添削指導：	6 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
		そ の 他：	0 回		
定期試験	なし	学 期：	回	副教材	配布プリント
定期試験の 評価割合	%				

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	水	オリエンテーション 自分すごろくを描く	○	○	第1回 (5/8)
2	4/17	水	鉛筆の練習、線の抑揚の練習、構図の練習	○	○	
3	5/8	水	基礎形態のデッサン・グレースケール	○	○	
4	5/8	水	大顔面で陰影の練習	○	○	
5	5/22	水	色彩	○	○	第2回 (6/5)
6	5/22	水	色彩	○	○	
7	6/5	水	デザインの実践(色紙での色彩構成)	○	○	
8	6/5	水	デザインの実践(色紙での色彩構成)	○	○	
9	6/19	水	コラージュ	○	○	第3回(7/3)
10	6/19	水	コラージュ	○	○	
11	7/3	水	万華鏡デザイン	○	○	
12	7/3	水	万華鏡デザイン	○	○	
7/10(水)授業なし 7/17(水)授業なし						
13	9/11	水	デザイン、イラストレーション	○	○	第4回(10/23)
14	9/11	水	デザイン、イラストレーション	○	○	
15	10/9	水	イラストレーション、漫画表現	○	○	
16	10/9	水	イラストレーション、漫画表現	○	○	
17	####	水	イラストレーション、漫画表現	○	○	
18	####	水	イラストレーション、漫画表現	○	○	
19	11/6	水	ゼンタングル	○	○	第5回(12/4)
20	11/6	水	ゼンタングル	○	○	
21	12/4	水	ロゴデザイン	○	○	
22	12/4	水	ロゴデザイン	○	○	
23	####	水	抽象表現、鑑賞	○	○	第6回(1/15)
24	####	水	抽象表現、デペイズマン	○	○	
25	1/15	水	抽象表現、デペイズマン	○	○	
26	1/15	水	抽象表現、デペイズマン	○	○	